

みなさんこんにちは、県立生涯学習推進センター メルマガ担当です。

私が小学校1年生の頃、ファミリーコンピューターが発売されました。以来三十数年間、ゲームと共に今に至ります。当時は、各家庭にソフトを持って集まり、2個しかないコントローラーを交代しながら、1つのテレビ画面を大勢の友達で見ながらプレイしたものでした。

今は、映像も映画のように美しくなり、キャラクターも実在するのじゃないかと思ってしまうほどの作り込み。ましてや、ゲーム機本体も小型化し、一人一台の時代です。これでは没頭してしまうのも無理ありません。かくいう私もその1人なのですが・・・。

さて、ゲームソフトには対象年齢があることをご存じでしょうか。日本で販売される家庭用ゲームソフト等は、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構によって審査の上、対象年齢を定めて販売されています。どのような表現がレーティングの対象となるのかというと、【性的表現】【暴力表現】【反社会的行為表現系】【言語・思想関連表現系】の4つの区分のようです。更に細かな内容を知りたい方は同法人のホームページへどうぞ。

【レーティング制度】<https://www.cero.gr.jp/publics/index/17/>

審査に応じてゲームソフトには「学齢区分マーク」が表示されます。

A＝全年齢対象、B＝12歳以上対象、C＝15歳以上対象、D＝17歳以上対象、Z＝18歳以上対象の5種類で、特にZは、18歳未満に販売したり頒布したりしないことを前提とする区分となっていて、かなり過激な表現の多いゲームソフトであることがわかります。

ここで、今一度、子ども達がプレイしているゲームソフトのレーティングが、どの年齢区分なのか、確認してみてください。例えば、小学校低学年の児童が、CやDの年齢を対象としたゲームソフトで遊んでいないでしょうか。特定のゲームソフト名を出すことは控えますが、島に上陸して生き残るオンラインサバイバルゲームがあります。小学生の子ども達の間で大人気のゲームソフトですが、レーティングはCとなり、15歳以上対象なのです。ということは、対象は中学3年生以上ということになり、小学生が遊ぶには適していない内容が含まれているのです。

小学生の子どもが、いくらゲームの世界とはいえ、人を銃で撃ち殺す内容に何時間もさらされていることが、子どもの健全な発達にとって良いか悪いかは一目瞭然です。ゲームソフトを購入する際はぜひ、年齢制限を確認し購入の判断をしてみてください。

子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】<https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★